

# ESシーズン基準について

## シーズン基準とは？

時期毎に気温に合ったアイテムをお届けすることができるよう、1年を6つに分けて素材/丈/デザイン等の観点から基準を定義したものの。

※デザイン上での仕入れ基準は別途定義



# ESシーズン基準（3/1~4/20）

		3月			4月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
2015年最高平均気温		11.7	15.8	18.7	16	18.5
2015年最低平均気温		4.7	6.3	6.7	7.8	9.7
アイテム区分	NEW 季節1013	初春				
トップス	長袖	0	0	0	0	0
	半端袖	0	0	0	0	0
	半袖	3月は半端袖いらない				
	ノースリーブ					
ボトムス	膝上	0	0	0	0	0
	膝丈	0	0	0	0	0
	膝下	0	0	0	0	0
	ロング	0	0	0	0	0
詳細	NG素材(混率100%)	ウール・カシミア・モヘヤ・リネン				
	NG生地	ペロア・フリース・ベルベット・ボア・バイル				
	NGデザイン	なし				
	透け感(裏地込) 確認方法：洗濯表示が見えるか3段階評価、あり/なし/若干	トップスは裏地なしのやや透けまで、ワンピース・ボトムは裏地有無問わずで透け感なし				
	ボトムス裏地	有無問わず				
	割合管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャケット</li> <li>・ニット/シャツブラウス/カットソー/ワンピース (3上：長袖・中厚・明るい色味 3末：長袖薄手 4頭：半端袖)</li> <li>※ワンピース：7部袖くらいで地厚だと、着れる時期がすごく狭い。</li> <li>・パンツは3月末くらいから、半端丈も着れるようになってくるが、裏地は付いていないとベラベラな感じがする</li> <li>・ドルマンスリーブ</li> </ul>				
	memo	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ寒い、気持ちは春</li> <li>・厚さあり、明るめカラー（パステルなど、濁りのないくすみのないカラー、ホワイト系、中心）</li> </ul>				

**期間：3/1~4/20**

※季節起因により変動する場合があります

## point

◆3月はまだ寒い日は多いものの気持ちは春！  
ある程度地厚で春らしい色味のものが多くなってきます。

◆端境期でシーズン中に気温の変動が大きい  
ため、袖丈も長袖～半端袖があります。  
地域やその年の気温にもよりますが、**3月中は長袖メインでの選定がおすすめ**です。

◆幅広いスタイリングを可能にするため、ESのブラウスやカットソー、ワンピースは、1枚で着用できるものだけでなく**羽織との合わせを前提としたアイテム**もあります。

また、ジレやキャミワンピ等、重ね着を前提としたアイテムも。

# ES前半寄りのスタイリングでおすすめのアイテム

- ESタグと一緒にWIタグもついているもの
- 長袖
- 起毛感はあまりないものの、生地は地厚なもの
- ボトムスは基本裏地がついているもの



# ES後半寄りのスタイリングでおすすめのアイテム

- ESタグと一緒にLSタグもついているもの
- 長袖～半端袖
- 起毛感がなく、生地は地厚～普通（綿や麻混も増える）



# スタイリングのポイント

## 季節感の基準

- 季節タグがついている**範囲**に注目してください！

例えば「冬、晩秋、初秋」とついていたら「初秋にも着られる素材」なので、冬に着るとしたら羽織やインナーなど何かしら工夫は必要となります！



季節：冬,晩秋,初秋

素材：ポリエステル/100

**10~11月(初秋~晩秋)**は、特に季節感に触れるご感想はないのですが、

**12~2月(晩秋~冬)**で「**寒かった**」といった感想が増えています！

## 季節感の基準

- 現状の季節タグの付け方として、純粹に一枚で着られる季節範囲をつけているというよりは、「レイヤードスタイルとしても楽しめるよね」といった**スタイリング視点を含んだ季節基準**になっています！



季節：冬,晩秋,初秋,初春

素材：ポリエステル/100

冬や初春には厚めのニットとレイヤードスタイルを楽しむ想定で入れているアイテムになるので、**寒い時期に薄手のニットやブラウスと合わせた提案は避けた方がよさそう。。**

## 季節感の基準

●季節タグが少なければ少ないほど「その季節」に適した素材となります！

季節：冬,晩秋

素材：ポリエステル/100

ブラウスなので寒いとの感想も多少はありますが、  
**2月(冬)**に送っても「生地が厚手でよかった」との感想あり



# 季節感を合わせるには

- 着られる季節範囲が広いアイテムに対しては、必ずその季節に合わせた提案をしましょう！

例えば、このブラウスを冬に送るとしたら、



季節：冬,晩秋,初秋

## OK例

- ・ジャケットやカーディガンのアドバイス

→インナーのアドバイスを追加しても○

(特に透け感がありそうなアイテムは季節関係なく必須です)

## NG例

- ・羽織のアドバイスなし

- ・コートだけのアドバイス

→特に真冬に送る場合、コートの下にいきなりブラウス一枚というのは

考えづらいので必ず**その間の羽織り**のアドバイスを入れるように！